



みしま No. 190 議会だより

令和2年11月発行

発行／大沼郡三島町議会
編集／議会広報編集委員会

〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下350

☎0241-48-5588

ホームページ <http://www.town.mishima.fukushima.jp>

E-mail: gikai@town.mishima.fukushima.jp

大きなイモ
掘ったぞー!!

三島保育所イモ掘り



9月
定例会

● 9月定例会のあらまし……………P2～4
● 一般質問
～議員が町政をただす～……………P5～12

● 議会の主な動き……………P18
● 議会活動報告……………P14～15
● 三島町の明日を考える……………P16～17

9 月定例会のあらまし

9 月定例会は14～18日の5日間開催され、1つの条例の一部を改正する条例、工事請負契約の変更の承認、教育委員1名の任命同意、固定資産評価審査委員1名の選任同意、人権擁護委員の推薦等に同意しました。

予算は令和2年度一般会計補正予算及び6つの特別会計補正予算など、町長より提出された議案を審議し、すべて原案通り可決しました。

更に令和元年度の一般会計歳入歳出決算、7つの特別会計歳入歳出決算について全て承認しました。

また、議員提出議案として「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」設置の議案を提出・可決し、その他1件の議員提出議案を可決しました。

町内のガソリンスタンド事業者が廃業したことに伴い、町で公設民営の給油施設に関する条例を上程しましたが、町側の調査・調整不足のため一旦議案を撤回し、再度調査の上議会と給油施設の設置について話し合っていくことになりました。

【可決結果一覧と条例改正等の主な概要】

議案番号	議 案 名 等	結果
54	三島町給油施設の設置及び管理に関する条例の制定について	撤回
55	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について ・職員の不適切事務の懲罰に伴い、管理者責任として町長・副町長の給料1か月分30%を減額するもの。	可決
56	会津若松地方広域市町村圏整備組合規約の一部を改正する規約について ・組合の消防費の負担割合算定方法の見直しに係る規約の改正。合併の特例が終了する為、各市町村の負担率が増えることになる。	可決
57	工事請負契約の変更について (三島町役場庁舎・町民センター耐震改修工事) ・現在工事中の町民センター改修の際予定していた、アスベスト除去が不要となったことに伴う契約の内容の変更	可決
58	会津若松地方土地開発公社の解散について ・公共用地等の取得、管理、処分等を目的に設置された公社を本年度で解散する手続き	可決
59	令和2年度三島町一般会計補正予算 ※給油施設に関する予算を落とし再上程	撤回

議案番号	議 案 名 等	結果
60	令和2年度三島町簡易水道事業特別会計補正予算	可決
61	令和2年度三島町路線バス事業特別会計補正予算	可決
62	令和2年度三島町農業集落排水事業特別会計補正予算	可決
63	令和2年度三島町介護保険特別会計補正予算	可決
64	令和2年度三島町戸別合併処理浄化槽特別会計補正予算	可決
65	令和2年度三島町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決
66	令和元年度三島町一般会計歳入歳出決算	認定
67	令和元年度三島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認定
68	令和元年度三島町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算	認定
69	令和元年度三島町路線バス事業特別会計歳入歳出決算	認定
70	令和元年度三島町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	認定
71	令和元年度三島町介護保険特別会計歳入歳出決算	認定
72	令和元年度三島町戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算	認定

議案 番号	議 案 名 等	結 果
73	令和元年度三島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定
74	三島町教育委員会委員の任命同意を求めるについて※1	同意
75	三島町固定資産評価審査委員会委員の選任同意を求めるについて※2	同意
76	令和2年度三島町一般会計補正予算（再上程）	可決
諮1	人権擁護委員の推薦を求めるにつき意見を求めることについて※3	同意

議案 番号	議 案 名 等	結 果
議 会 案 件		
議3	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う 地方財政の急激な悪化に対し地方税財源 の確保を求める意見書の提出について	可決

※1～3 4頁「人事案件等について」をご覧ください。

【令和2年度9月補正予算の額】

（単位：千円）

会計区分	補正前予算	補正額	補正後予算
一 般 会 計	2,846,725	292,643	3,139,368
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計	193,696	5,960	199,656
路 線 バ ス 特 別 会 計	30,148	0	30,148
農 集 排 特 別 会 計	26,888	0	26,888
介 護 保 険 特 別 会 計	466,457	28,104	494,561
戸別合併処理浄化槽特別会計	49,165	0	49,165
後期高齢者医療特別会計	34,419	330	34,749

※補正額0千円の会計は歳入の構成のみ補正となります。（一般会計繰入金
を減額し、前年度の繰越金を歳入に充当。）

【9月定例会の補正予算の主な内容】

8月4日に議会で新型コロナウイルス感染症緊急対策要望書を提出した内容も盛り込んだ補正予算を可決しました。

■新型コロナウイルス感染症対策関係■

○マスク・アルコール消毒薬・体温計等配布 12,144千円	○農業経営持続化支援交付金 2,300千円
○公共施設等手洗い自動水洗化工事・設計 22,791千円	○事業者支援給付金 4,000千円
○ふるさと宅配便支援事業（発送費用助成） 1,125千円	○観光プロモーション事業広告費（県内対象） 1,650千円
○インフルエンザワクチン予防接種助成 2,000千円 （18歳以上64歳以下を助成の対象に追加しました）	○三島小中学校コロナ対策備品 2,786千円
○桐の里商品券給付事業 （全町民へ商品券10,000円分布） 17,050千円	



■ 総務関係 ■

- 公共施設長寿命化計画策定業務 11,000千円
 ○役場・町民センター無線LAN改修工事 7,700千円

■ 福祉関係 ■

- 高齢者生活福祉センター空調工事 1,667千円

■ 農林・建設関係 ■

[農林関係]

- JA山菜加工場備品 4,443千円
 ○会津地鶏振興事業補助金 500千円
 ○森林景観整備 3,800千円
 ○会津桐植栽地管理委託 1,042千円

[建設関係]

- 町道中平宮ノ上線側溝改修工事 1,650千円

■ 商工・観光関係 ■

- 地場産品販路拡大事業
 （会津桐製品販売促進委託） 1,128千円
 ○商工会館トイレ改修補助 668千円
 ○美坂高原管理委託 474千円

■ 消防関係 ■

- 消防ホース格納庫購入 800千円

■ 保育・教育関係 ■

- 三島保育所新型コロナウイルス対策用備品購入 792千円
 ○三島小学校特別教室（英語教室）空調設備工事 3,696千円

【人事案件等について】

9月定例会では、3つの人事案件等について同意されました。

三島町教育委員会委員に任命された方

氏 名	地 区	備 考
阿部 和彦	桧 原	再任（4期目）

※1：教育委員会委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者（満25歳以上の者）で、人格が高潔で、教育や学術、文化に関して識見を有する者のうちから、町長が議会の同意を得て任命します。

三島町固定資産評価審査委員会委員に
選任された方

氏 名	地 区	備 考
目黒 忠昭	滝 谷	再任（5期目）

※2：三島町の固定資産評価審査委員会の委員の定数は3名で、委員は、町の住民税の納税義務がある者又は固定資産の評価について学識経験を有する者のうちから、議会の同意を得て町長が選任します。委員会は固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服等の審査を行います。

人権擁護委員に推選された方

氏 名	地 区	備 考
二瓶 厚	名 入	再任（4期目）

※3：人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害から被害者を救済したり、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行ったりしています。

一 般 質 問

～議員が町政をただす～

9月定例会では7人の議員が一般質問を行い、町政全般について活発な議論を交わしました。(6頁～12頁に掲載)

一般質問議員		質 問 事 項	頁
1	6番 二 瓶 俊 浩	①起業支援・雇用創出事業助成金六次化産品開発商品販売の支援事業について	6
2	1番 矢 澤 昇	①老朽化の著しい公共施設について	7
3	3番 五十嵐 健 二	①三島町地域防災計画について	8
4	2番 二瓶 辰右工門	①産業政策と町の活力について ②コロナ緊急要望について	9
5	5番 長谷川 清 雄	①大登地区の農地について	10
6	8番 大 竹 克 昌	①グローバルピッグファーム(株)柳津養豚場について ②三島町ガソリンスタンドについて	11
7	7番 菅 家 三 吉	①今後の町内での各種イベントの開催について	12

※一般質問とは…議員が町の将来に対する方針や、執行機関の政治姿勢を明らかにし疑問点等を質します。また、議員自ら政策の提言を行います。三島町議会は1人60分の持ち時間の間に質問答弁を行います。

●今回より一般質問は、質問・答弁（再質問含む）を要約した形で掲載します。



起業支援・雇用創出事業助成金、六次化 産品開発・商品販売の支援事業について



二瓶 俊浩 議員

創出支援事業は13件で1347万6千円、15名の雇用を生み、現在雇用継続者は7名となっている。

問 起業支援・雇用創出事業助成金が始めて10年が経過するが効果が見えない。改めて事業の趣旨・目的を伺う。

六次化産品開発事業は、会津桐炭事業に704万9千円、桐炭入りの麺等が商品化されたが、現在は桐炭ソフトクリームが道の駅で販売されている。

答 起業・雇用創出支援事業補助金は、町内での新規事業者及び雇用の創出を通して、地域経済の活性化を図り、定住促進につなげることを目的とする。

農商工連携商品開発事業は、3年間で149万8千円、「やきそばラーメン」と「地鶏かゆ」が商品化された。

問 数字的にどうであったのか、現状はどうなっているのか。

答 起業支援事業は6件で568万円、起業した事業所は全て事業を継続している。雇用

販売に至った。

温泉塩抽出調査事業は88万4千円、温泉塩を活用した「つるの湯ラーメン」を商品化し販売に至った。

商品販売に関する事業支援は、25年度より福島県補助金を活用し、首都圏でのPRや販売促進、商談会への参加などの費用として令和元年度まで1553万1千円を支出した。

問 六次化商品開発事業や商品の販売に莫大な事業支援を行っているが一向に成果が見られない。

費用対効果をどのようになっているのか。

答 費用対効果は売上だけでなく、地域内のみでの消費喚起には限界がある中で、地場産品の販路拡大とブランド力向上を目的とした商談会やイベントへ参加し、他社の取組を学ぶとともに、継続することにより認知され、町のPRにつながる。

最大100万円の助成金が出る。税金であるので数年間は町に状況を報告するのが義務ではないか。

顧客獲得と消費拡大につながることを期待している。長期的な視点でご支援をお願いしたい。

再質問

問 助成金を使用していつの間にか何年間町への報告義務があるのか。

答 報告の義務はあるが、28年度に町は必要があれば3か年報告を求めるように改正した。

問 最大100万円の助成金が出る。税金であるので数年間は町に状況を報告するのが義務ではないか。

答 活用の実績が少なかつたので、活用を図っていただくために制度を見直し、その中で義務的なものを町が報告を求めた場合と改正した。

問 なぜ必要ないと改定したのか。

答 活用してもらった負担を減らした。書類の整備等も簡略化したのでご理解いただきたい。

問 町のチェック体制はどうなっているのか。

答 事業者等と連絡を取りながら、現在の状況等を把握している。担当者が訪問や電話等で様々な情報提供等を行い、運営の状況を把握し何か疑義があれば庁内で検討する。

問 第四次振興計画で見直しとなっているがどのような見直しをしたのか。

答 26・27年度には1件の活用もなかった。28年度に新たな制度改正等がされた。その中に、町内雇用の創出という部分で、町外から雇用される方の移住条件が加わった。

29年度に再度改正し、また町内の方に限ると要件を改正した。雇用条件の部分で随時見直しを図って、支援事業の活用につなげる見直しを行った。

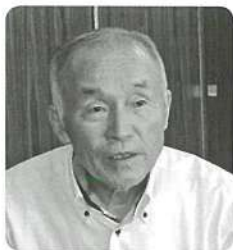
問 商品販売も効果が見えないのが現状である。なぜ結びつかないのか。

答 商品ができて販路を求めた場合に、その求める先がかなり量が必要とする場合、量を多く生産できないというようなことがあって、大きな取引までには結びついていない。

問 町民から「これまでの取組は補助金に依存して、助成がなくなると事業が継続しない」というような意見があることをどのように考えているのか。

答 町が必要だと考える事業は、補助金があるなしに関わらず、取り組んでいくよう考えている。

町が必要だと考える事業は、補助金があるなしに関わらず、取り組んでいくよう考えている。



矢澤 昇 議員

老朽化の著しい公共施設について



三島中学校隣の旧寄宿舎



老朽化の著しい旧大石田分校

問

昨年9月に施設調査を行い、その中で老朽化が著しい施設が見受けられました。このまま放置すればさらに老朽化が進み、台風や大雪等で壊れ、人的被害が発生する恐れがあり、早急に解体等の検討が必要があると考えます。その後の町の

答

対応を伺う。
老朽化が著しい公共施設の旧寄宿舎や2階建ての旧西方中学校校舎、旧大石田分校などの解体は、補助金等の財源を確保しながら令和3年度以降に解体していく計画である。

問

老朽化した公共施設の解体は予算化または優先順位があると思うがどのように考えているのか。

答

公共施設の維持修繕、解体等の個別施設計画を策定し、その計画に基づき優先度を定め協議していく。

問

三島中学校校庭にあるバックネットに、つる等が絡まって景観が良くない。三島町は日本で最も美しい村連合に加盟している。町の景観を守るためにも、早急に撤去すべきと思うが。

答

年に2回、学校とPTAで春と夏に除草作業を行っている。今年も8月に草刈り等を行った。今後も教育委員会と学校で連携を取りながら、適切に維持管理していく。

三島町地域防災計画について



五十嵐健二 議員

問

昨年10月に発生した台風19号は、福島県に甚大な被害をもたらした。当町においても、滝谷川・大谷川が危険水位に達し、流域の地区住民に避難勧告が発令された。その検証は行われているのか。今後町の防災計画に見直しはあるのか。また「防災会議」、「災害対策本部」に議会は入っていない。様々な情報の共有は必要であり、議会の代表として議長も参加すべきではないか。

答

昨年の台風19号対応の反省として、避難所は日中の明るい

時間に開設しておくこと、また状況により町民センター等の活用についてもあらかじめ広報周知しても良かった。日頃の町民への防災意識の高揚や職員への平常時の防災行動教育、自主防災組織化への誘導、支援等整理しながら次の災害に備えたい。

防災計画については、役場組織や気象災害情報の変更、また新型コロナウイルス感染症の対応等もあり国・県の動向を注視し、必要に応じて見直したい。防災会議は災害基本法第16条6項に記載されており、第15条には組織の規定が記載されている。

議会代表については、学識経験者の立場で加えるよう検討したい。災害対策本部について

は、災害の予防、拡大防止または応急・復旧活動をするために設置するものであり、組織を円滑に指揮する態勢であるので議会の役割からして議員が構成員になるにはなじまないと考える。

問

検証はどのような形で行われたのか。

答

特別警報が三島町に発令され町全職員に招集をかけた。危険対象地域の滝谷・三谷地区には避難勧告を防災無線で知らせた。消防団・町職員で高齢者を中心に声かけしながら避難を促したが、午後10時を過ぎていたため避難所に集まらないう状況だった。そのようなことから、予め避難所開設を予告し、避

難所を開けておいて不安な方はそこに入ってもらおうというような態勢が必要であった。

問

高齢者の避難、特に要配慮者の避難についてはどうか。

答

高齢者や体の不自由な方の要配慮者名簿というのがある。これは主に民生委員の方々が要配慮者の情報を集約し名簿として持っている。災害等が発生する恐れがある場合は、その名簿を共有して地区の消防団や民生委員で避難させるという流れになっている。

ただ、その時には要配慮者の名簿の共有は行われず、要配慮者に対して避難の行動は行われなかった。

問

防災計画の目的は、住民の生命・財産を守り被害を最小限に抑えることだとうたっている。なぜそのような行動を町で行わな

ったのか。

答

そのように動いていなかったというのが実態だった。その反省を踏まえて、防災計画の見直しも含めて組織の中でしっかりと教訓にしていきたい。

問

防災計画の中で、自主防災組織を作り準備するという形をとっているが、実際に自主防災組織はあるのか。

答

具体的に自主防災組織というのは出ていない。

問

自助、共助これは大切なことであり、そのひとつとして自主防災組織があると思うが、町ではどう考えているのか。

答

「住民の生命・財産を守る」ための計画だと認識しています。要配慮者についても名簿はあるが活用がうまくいっていないという

こともある。予め情報共有を図れるような環境づくりをし、防災計画に定める活動一つをひとつ行いたい。

自主防災組織も、行政支援で地区の自主防災組織の設立までその地区とよく話をしながら設立できるように支援する。

問

防災計画の見直しについてはどうか。

答

具体的な見直しは今のところ考えていない。しかし、新型コロナウイルスが発生し、その動向も注視しながら見直しをかける必要がある。

すでに、役場の組織や各種団体の名前も一部変わっているところがあるので、文言や資料の数値の整理等ができるだけ早く、この年度内にできればと思う。



二瓶辰右工門 議員

産業政策と町の活力について

コロナ緊急要望について

問 三島町の生産活動は近隣町村と比べても落ち込んでいる。

平成17年度と29年度の比較で見ると、電力を除いた総生産額はマイナス11・4%、市町村民所得はマイナス19・7%となっている。

40年以上に亘り町の行政に携わってこれられて町長は、現在の町の姿をどのように捉えているのか。

答 持続可能な三島町構築を目指す上で、

地域資源の活用と経済の循環を図るため、農林業を中心とした生産活動及び環境施策を経済活動に結びつけることが必要と考えている。

問 町の地域活力をどのように高めているのか。

答 人口の維持増加が

基礎的要因で、交流人口を拡大し関係人口につなげ、新たな交流や知見を地域に還元

し続けることで地域の魅力が高まり、人口の増加とともに地域活力の向上につながると考えている。

問 有害鳥獣対策は喫緊の課題。今後の取組み方針はどのようなか。

答 中山間地域直接払いの協定を結んでいる農業団体と、一定面積の農地を電気柵で囲うことや、補助要件等の協議を進めたい。

併せて、地域おこし協力隊制度を活用し、有害鳥獣被害対策の専門職員を配置したい。

問 会津地域唯一の食鳥処理施設を有する(有)会津地鶏みしま

の度重なる要望をどのように受け止め、今後の支援策をどのように講じようとしているのか。

答 新たな施設整備のため、補助事業の導入に向けた施設の整

備計画を県と相談し、かつ、会津地鶏みしまやと計画処理羽数や新商品開発等の内容を協議している。第五次振興計画には重点事項として計画を上げたい。

問 去る8月4日に三島町議会として提出した「新型コロナウイルス感染症対策緊急要望」に対する町の取組みが報告されていない。各要望項目に対する取組状況と方針について伺う。

答 一項目、お盆帰省の広報は、「帰省自粛」「県外への不要不急の移動自粛」をお知らせ版等で広報済み。

二項目、感染防止資材(マスク、体温計、消毒剤)の全戸配布は補正予算に計上。

三項目、事業者支援給付金は、要件緩和したものづくり工人も対象にした。また、農業分野も新たに給付事業を

創設し補正予算に計上。四項目、奥会津地域内での新たな活性化対策については、各町村との協議の場を設定する。

五項目、町内感染発生に対応した訓練の実施については、町が患者に関与できることはほとんどなく、情報も県が発表する情報以外はないため、保健所、病院と連携した訓練は想定していない。

六項目、町民への正しい知識と情報の提供については、お知らせ版にて情報を提供し、戸別訪問や地区サロンなどで感染防止を呼びかけている。

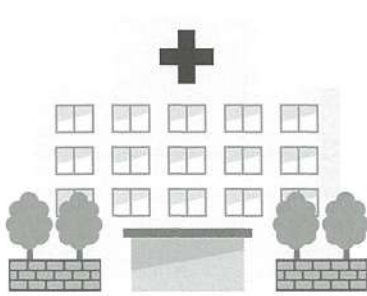
七項目、宮下病院に発熱外来を開設することについては、先日宮下病院長に発熱外来設置を要望したが、「現状では設置できない状況にある」との回答であった。

問 感染が拡大する中、発熱外来を設けてPCR検査も出来る素地を早く作ることが一番求められている。今、行政がやるべきことは

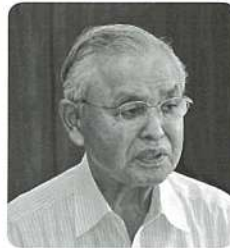
発熱外来を宮下病院に実現すること。町長の所感を求める。

答 宮下病院に発熱外来を設置するには新たに医師・看護師を専従で置かなければならないので設置は難しいとのことであった。

問 宮下病院に発熱外来を設置する要望は病院長ではなく病院を所管する県の病院局である。過疎地、また高齢者が多い地域の住



大登地区の農地について



長谷川清雄 議員

民の命を守るため、発熱外来の必要性に説得力が出てくる。是非、県に要望して頂きたい。

答 県の病院局等に要望する。

問 8月4日に三島町議会の要望につい

て、事前協議もなく予算化されている。何故予算化される前に事前協議がなかったのか。

答 議会に対して事前協議しなかったことを反省している。

め断念し、緑肥作物のライ麦を200アール程度まく予定。来年度に刈り取りして、肥料としてすき込んで、エゴマやソバの作付に備える。

再質問

問 桐の里産業がやるならば、新たに従業員等を募集して行わなければならない、相当の面積があるため耕作が困難になると思うが。従業員等はどのような方法で集めてくるのか。

問 昨年までソバを作付していた大登の耕地について、現在約5か月間余りも作付がされていない状況と思われる。今後、作付する予定があるのか。またソバ等の播種は終わっているのか。

答 従業員を増やして作付するのではなく、現在の農業部門の従業員で来年も作付を予定している。

問 新たに従業員を雇わず340アールの農地交錯するのは無理だと思う。緑肥をつくりそれを切って堆肥にする形であれば何とかなると思うが、そのままトラクターで耕うんしても収穫が上がってこない。本当にできるのか。

答 現在、農業部門は5名でやっているが、作業が忙しくて間に合わないときには、桐の作業班や美坂の作業班の人員を充当しながらやっていく。来年度は大登についても作付するような形で計画を進めている。

答 8月中旬に桐の里産業株式会社が新たに受託し、現在、耕運作業は全て完了しているが、今年度の作付は年度途中であったた



ライ麦を蒔いた大登地区の農地



大竹 克昌 議員

グローバルピッグファーム(株)柳津農場について

三島町ガソリンスタンドについて

グローバルピッグファーム(株)柳津農場

問

平成31年2月頃から臭気が拡散し始め、柳津町、三島町の広範囲に広がっている。

グローバルピッグファームも臭気低減対策に取り組んでいるが、柳津町麻生地区、町内では松原・西方・宮下地区にも臭いが拡散している。今年11月にフィルター脱臭システム、臭気対策の最終的な設備が完了する予定だが、それでも臭う場合、今後町では何を想定し訴えて指導していくのか。

答

9月10日には養豚会社の社長を町長室に呼び、現在の悪臭防止対策の早期完成と、町内から悪臭がなくなるまでの臭気対策を行うことを直接強く申し入れた。

町としても、脱臭工事完了後も町内で悪臭が続くのであれば、養

豚会社に悪臭がなくなるまでその対策を講じるよう指導する。今後、会津地方振興局、会津家畜保健衛生所、柳津町と連携しながら、臭気対策の効果を検証しながら早期にこの問題が解決されるよう取り組む。

再質問

問

臭いが消えていないのに豚を増やしていくという、会社の方針はおかしい。

臭いが改善されるまで頭数を増やさないよう指導することは出来ないのか。

答

行政指導というところで、養豚会社の社長に直接、町長が強く指導した。

問

今後また臭いが続くようであれば、これ以上の頭数を増やさない協定を会社と結べないのか。

答

この問題については、当初から柳津町と一緒に取り組んでいるので、一緒に考えていきたい。

問

悪臭で苦しんでいる住民の方がたくさんいる。町一丸となって悪臭対策に取り組む姿勢を示して欲しい。

答

三島町ではこういう問題が出たというところで、柳津町長と相談しながら、三島町の考え方、姿勢を示して取り組んでいく。

三島町ガソリンスタンド

問

6月定例会でガソリンスタンドの在り方について行政の考えを伺った。「町としては町内にガソリンスタンドは必要と考えている。今後、議会及び関係者の皆様で協議していく。」という町長の答弁であった。

災害発生時や緊急時の緊急車両、災害対応機器類の稼働に当たりガソリン等の燃料備蓄は必要であり、豪雪地帯の三島町にとって、暖房・除雪・融雪等、様々な業務継続や生命維持において必要だと考えている。町としての方向性はできたのか。

答

議員の皆様からご意見を頂戴し、町としてもガソリンスタンドの必要性については議員と同様に考えている。そのことを踏まえ、様々な選択肢について検討した。

これからの消費動向等を踏まえて様々な選択肢を考え、場所や運営事業者の公設か民営か等々、十分な議論が必要と考える。

問

国道252号沿線に開設する考えはあるのか。

再質問

問

国道252号沿線に開設する考えはあるのか。

答

この冬を前にして、冬期間の住民の不安を解消するため、当面は既存の施設を活用し、給油等を考えているが、並行して国や住民の方々と交えて協議会を立上げ、次の世代のガソリンスタンドの在り方について議論していくことを考えている。

問

ガソリンスタンドが開設されれば、町長自ら事業所等を回り、利用してもらうようにトップセールスを行う必要があると考えるがいかがか。

答

様々な事業所等に協力をお願いしていきたい。併せて、町民に少しでも安く提供し還元できるようにしたい。

今後の町内での各種イベントの開催について



菅家 三吉 議員

問

今後予定されている当町の各種イベントについて、感染対策を講じながら地域経済との両立を図っていくことも、重要なポイントではないか。国ではイベント規模の拡大が始まっており、地域の活力向上のためにも、町としては、ウイズコロナ時代にどのようなタイミングでイベントを再開想定しているか。

答

地域経済の活性化を図っていくことも必要であることは認識している。しかし、これからはウイズコロナの時代で、これまでと同じようなイベント

の開催は困難と感じる。新たなイベントの形を関係者の皆さんと協議したい。

どのような形であれば開催可能なのか、住民の方々の理解を得るためにはどのようなすればよいか等、これまでの形式にとらわれず、開催を念頭に検討していきたい。

再質問

問

8月末に猪苗代湖畔で、ウイズコロナ時代のイベントの実証実験のような形で極上の会津プロジェクト主催で開催された「あいづサマースカイフェス」。町長と担当課長は、このイベント開催は認識していたか。

答

町長 新聞では見た。なかなか行く機会がなくて行けな

った。

答

担当課長 「あいづサマースカイフェス」というイベントがあるということは認識していた。

問

当町からは3店舗が出店し、役場職員の方も受付等の担当で参加した。観光産業をもう一度回復、そしてステッパアップしていくんだという気持ちがあれば、町執行部が積極的に状況を視察し、現場の雰囲気、そして実施方法等を直接確認する必要があるのではないか。

答

直接現場を確認する、この目で見るということも必要かと認識している。ただ、参加した担当者からの情報で共有が図れるということから参加しな

かった。

問

どのような情報を共有しているのか。

答

「参加者の状況は想定された人数までは届いていなかった。」「イベントの在り方としてコロナ禍で行うイベントとして実証実験的なことが行われた。」等、今後、町でのイベント開催時の参考になるのではないかと話を聞いている。

問

私が聞きたいのは、何となく感覚で分かるような情報ではなく、実際に受付ではどういう対応をしたのか、何人体制だったのか、また身分証の確認といった、細やかな対応の情報の確認を行ったのか。

答

そういった細かいところまでの情報共有は行っていない。

問

情報の共有が欠如しているのではないか。終わった後に細やかな情報が共有されていない中で、今後本当にコロナ対策を含めた実施が可能なのか。

答

今後開催を予定している、「雪と火のまつり」に向けて、観光協会と町で雪と火のまつりがどういった方向ならできるといったことについて情報共有等をしていきたいと考えている。

問

来年度のふるさと会津工人まつりの実施するのか。

答

3月開催予定の生活工芸品展の状況を見ながら、順次方向性を検討していきたい。

問

宿泊業、観光業等のサービスマスターの方々は年間イベントを通してある程度売上げ見込みできるが、今の現状出来ない。一刻も早く町で各種イベントの開催の有無、日程等を含めて早めに町民の方にお知らせすべき。

答

早めの周知等の対応を心がけて、事業的に実施できるものは実施していきたい。



多くの人で賑わう工人まつり（平成30年撮影）

議 会 の 主 な 動 き

▶ 2020年8月 ◀

- 3 日(月) 議会運営委員会
新人議員研修会（福島市）
- 4 日(火) 第4回臨時議会
- 6 日(木) 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会調査（会津地鶏みしまや）
- 7 日(金) 両沼地方町村議会議長会臨時総会（会津坂下町・議長）
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会調査（会津桐タンス、西輝）
- 11日(火) 奥会津五町村議会議長連絡協議会視察研修（金山町・議長）
- 12日(水) 交通死亡事故ゼロ4,000日表彰（議長）
- 17日(月) 広域市町村圏整備組合議会定例会（～12日）
- 18日(火) 令和元年度決算審査（～20日・議会選出監査委員）
- 27日(木) 福島県町村議会議長会正副議長・事務局長研修会（福島市～28日）
- 31日(月) 三島町老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会（議長）
市町村対抗軟式野球大会壮行会（議長）

▶ 2020年9月 ◀

- 4 日(金) 議会運営委員会
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
広報編集委員会
- 7 日(月) 議会全員協議会
- 9 日(水) 両沼西部三町村小学校陸上記録会（金山町・議長）
- 13日(日) 市町村対抗軟式野球大会（小野町）
- 14日(月) 第3回議会定例会（～18日）
- 23日(水) 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会調査（会津地方振興局、会津保健福祉事務所）
- 24日(木) 町史編さん委員会（議長）

▶ 2020年10月 ◀

- 7 日(水) 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会県立宮下病院発熱外来設置要望
（県庁県知事他、議長他、委員2名）
- 8 日(木) 福島県町村議会議長会研修（郡山市）
- 9 日(金) 議会全員協議会
- 16日(金) 第32回議員大会決議事項県要望（福島市・議長）
- 22日(木) 議会全員協議会
- 27日(火) 議会運営委員会
- 29日(木) 第5回臨時議会
広報編集委員会
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
- 30日(金) 常任委員会公有施設等調査（保育所、小・中学校、柳津町：グローバルピッグファーム(株)）

議会活動報告

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の調査活動

6月の第3回定例議会において、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会が設置され、その後、約1か月に渡り役場・宮下病院・地区区長・宿泊飲食事業者・農林業者・福祉施設・指定管理者等に幅広い調査を行いました。



商工事業者との意見交換会

4月の緊急事態宣言発令以降、例年なら桜とゴールデンウィークで多くの観光客が町内を訪れる時期でしたが、ほとんど人の流れが止まってしまい、特に、宿泊・飲食事業者は大きな打撃を受けました。その他にも、新型コロナウイルスの影響を受けている方は町民全てに及んでいます。

様々な方々の話を聞きながら、これらの現状をつぶさに調査し議会としての提言をまとめ、8月4日に「新型コロナウイルス感染症対策緊急要望書」を町当局に提出し、その結果、9月の第3回定例議会において、マスク・アルコール消毒薬・体温計の配布、幅広い事業者への給付金の支給等様々な事業が予算化されました。

さらに、9月23日には会津地方振興局・会津保健所を訪問し、会津地方でも感染が確認されている中、この奥会津地域でもいつ発生してもおかしくない現状を踏まえた、様々な意見交換を行い、町民の感染予防の対策の為の施策の参考としました。

新型コロナウイルス感染症の終息はまだ先が見えません。今後も議会では様々な調査を行い、町民の方々が安心して暮らせるように努めてまいります。



町長に緊急要望書を手渡す青木議長

J A会津よつば三島町山菜加工場を視察・意見交換会



山菜加工場での視察

7月20日、町の指定管理施設である、J A会津よつば三島町山菜加工場の状況を視察し、意見交換会を行いました。

初めに加工場を長谷川工場長の案内で視察し、加工や出荷までの流れを確認しました。その後、J A会津よつばの長谷川正一組合長や本店の総務課長、経済生活部長らが出席し、加工場の現状についての意見交換会を行いました。東日本大

震災に起因する原発事故後風評被害で販売が低迷していることや、今後の町での経営に対する支援等について話し合われ、J A会津よつば側からは、三島町の農家から少量ずつでも良いので野菜等を仕入れ加工していきたいという考えや、インターネット販売にも力を入れていくこと等の考えを示しました。

町では経営支援のため、元会津天宝常務の阿部崇治氏（桧原出身）を経営アドバイザーとして派遣し、新商品の開発や販路開拓等の支援を行っています。



J A会津よつばとの意見交換会



今号から三島中学校の生徒たちの声を掲載して行きます。予定では年4回発行中3回掲載していきます。今回は中学2年生です。

これからの次代を担う中学生がどのように町について考えているのか、その声を掲載していきますので、ぜひご一読ください。

—ここは三島中学校2学年教室。
職場体験を前に、2年生の6名
が仕事について話し合いをして
います。

E 9月に職業体験があるけど
さ、今まで学校で勉強した職
業が、もし三島にあったらど
う？

B 私が行くことになっている
歯科医院もそうだけど、三島
は高齢の方が多いから、医療
は充実してほしいよね。

D 俺はファストフード店。初
めのうちは喜ばれるかもしれ
ないけど、飽きられるのも早
いんじゃないかな。

A 僕が調べた書店は三島町外
だけど、町内で本を売ってい



板橋 卓さん



齋藤 美那さん

なくてもあんまり困らない。
買いたければ大体隣町に行っ
ちゃうよね。

C 本と言えば、イラストレー
ターについて調べたよ。三島
に住みながらでもできる仕事
だと思う。

F なるほど。今コロナの影響
でテレワークとか進んでるけ
ど、三島に住みながら都会の
会社に勤める人とかいないか
なあ。

C そのためには、三島の魅力
を知ってもらって、住みたい
と思ってもらわなければならないよ。
E 三島の魅力：やっぱり自然
か。

D 町内にすごくきれいな川が
あるの知ってる？今のままで

D 俺さ、ウーバーイーツいい
A 他には？三島町に必要な仕事ってないかな。
全 うーん…。

F その人には誰がお金を払うの？
C 作るのも動かすのも仕事か。そういう仕事が好きなんつていそうだよな。

A 川に限らず、自然を管理するシステムを作って、これを動かすことって大事だよな。

B そうか。川の管理人を仕事にすれば、働くために三島に住む人も出てくるかも。

は危険だけど、誰かがちゃんと管理して整備すれば、かなりポイント高いスポットだと思うんだよ。



酒井 大駕さん



真田 智和さん

A なるほどいいね。で、誰が

B そうか、それで配達専門の人達がいればいいってことか。

D 三島ってお年寄り多いじゃん。だから食品や食事の配達をしてくれる人がいたら助かるかなって思ったんだよ。でも食堂にもお店にも配達の余裕はない。人が足りないから。

F よくわかんないけど、それがどうしたの？

C 食堂の出前とどう違うの？

C 似てるけど、食堂の人じゃなくて宅配専門の人が配るんだよ。

C 簡単に言うとう食事の宅配サービスだよ。

F ウーバー…何？
と思うんだよな。

D いっそ観光客にやってもらうってどう？
全 うーん…。

F その人には誰がお金を払うの？

A 電気と雪の問題はともかく、ウーバーイーツいいかもね。

E 冬の配達は難しいか。

C おい、雪降るだろ。

E ああ、あれなら楽だ。どうやって充電する？ソーラーパネルとか付けるか？

F うーん…あ！電チャリ（電動アシスト自転車）！

C いやいやいや、山道多いぞ。

D やっていいなら俺やるよ。チャリで。



二瓶 桂悟さん

担任…学級での議論を再現しました。まだまだ続きそうです。もしかしたらこの中に、三島の未来を占う重要な発言が？



秦 慎之助さん

A 町にプレゼンとかしてみる？

D おいやばいぞこれ。グッドアイデアじゃね？

C 最近コロナで運動できない人多いから、体力作りにもなったりして。

F バイクじゃないから環境破壊にもならないし。

B いや、いいかも。サイクリングしながら三島の自然に触れて、しかもお年寄りに感謝される。

A は？

B いや、いいかも。サイクリングしながら三島の自然に触れて、しかもお年寄りに感謝される。

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために

新しい生活様式

を実践しています。

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐためには、今後も長い期間の対策が必要です。そのために、私たちは「新しい生活様式」の定着に向けて様々な対策に取り組んでいます。

私たちは下記の行動を実践しています。



(状況に応じて)
マスクの着用



手洗い・
手指衛生の徹底



消毒液の設置



消毒・洗浄



健康管理の徹底



三密の回避



換気の徹底



距離を取る



正面は避ける



パーティションや
仕切りの設置



誰とどこで
会ったかメモ



座席数を減らす

三島町

議会に傍聴においでください

12月議会は**12月中旬**に開催予定です。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、入場を制限または禁止することもありますので、予めご了承ください。

編集後記

この議会日より皆様が届く頃は、秋の収穫もひと通り終えた頃だと思えます。今年の収穫はいかがでしたでしょうか。

今年は春先から新型コロナウイルス感染症が全国に拡大し、八月には会津地方でも感染者が確認され、未だ収束の見通しが見えません。感染しないためにも、一人ひとりが「マスクの着用、手洗い・手指の消毒・三密の回避」等の新しい生活様式を徹底することが大切です。町民一丸となってこの大変な時期を乗り越えましょう。

議会は今後も町民の皆様が安心して暮らせる、より良い町づくりに努力してまいりますので、様々な声を議会にお届けください。

これから寒さが日増しに厳しくなっています。健康には十分にご留意なされお過ごしください。
(矢澤 昇)

議会広報編集委員会

編集委員長 二瓶 俊 浩

編集副委員長 矢澤 昇

編集委員 二瓶 辰右衛門

五十嵐 健二

菅家 三吉